

第28回きょうされん九州ブロック学習交流会

長崎大会

大会テーマ

「とどけようはたらく喜びを！つなげよう平和のバトンを！！」
～広がる希望 なかまとともに 被爆80年の長崎から～



期 日:2026年2月14日(土)～15日(日)

会 場:ベネックス長崎ブリックホール

主 催:きょうされん・きょうされん九州ブロック学習交流会実行委員会

お問い合わせ

大会実行委員会事務局(きょうされん長崎支部)

〒859-0402 長崎県諫早市多良見町団465-7 ドリームパーク内

TEL 0957-49-2111 FAX 0957-49-2115

E-mail kyosaren.nagasaki@gmail.com



参加へのおさそい

大会実行委員長 松本 浩二
大会運営責任者 野島九三男
(長崎支部支部長)

戦後そして被爆80年。80年前に投下された1発の原子爆弾により、一瞬にして多くの人の命が奪われ、80年たった今もその後遺症に苦しむ人がたくさんいます。あたりまえの日常が一瞬にして悲惨な光景となってしまいました。そこから一歩ずつ前に進み始め、安心して働くことや暮らすことができる、あたりまえの日常を取り戻すことができました。しかし、世界に目を向けると各地での戦闘や紛争がいまだに起こっています。これは決してほかの国の事ではなく、私たち自身が戦闘や紛争に巻き込まれる可能性を秘めています。そしてひとたび戦争が起こると、80年前の悲劇が繰り返される可能性も大いにあります。そして戦闘や紛争の際、最も大きな被害を受けるのは障害のあるなまや高齢者などです。この悲劇を繰り返さず、これからもあたりまえに働き、安心した暮らしを続けていくために、今、自分たちができること、自分たちに必要なことを皆さんで考えていきましょう。

大会当日は「長崎ランタンフェスティバル」の開催期間中でもあります。会場の近くには昨年完成した長崎スタジアムシティもあります。長崎で起こった悲しくて苦しい過去を学びつつ、今の社会や自分自身のことを考え、そして楽しく華やかな長崎を満喫できる長崎大会。たくさんの方々とお会いできることを楽しみにしています。

日 程 表

2月14日(土)

11:00	分科会 司会・アドバイザー・レポーター打ち合わせ
12:00	受付
12:30	オープニングセレモニー「平和の鐘を鳴らそう」 長崎のうたごえ協議会のみなさんと長崎のなまによる合唱
13:00	開会式 基調報告 「障害福祉の現状とこれからの課題」 きょうされん常任理事 小野 浩氏 特別講演 「戦後80年 戦争と原爆」 ～私たちはビリョクだけどムリョクじゃない～ 原水協長崎代表理事 田中 弘法氏
15:10	休憩・移動
15:30	分科会・特別分科会 なまの交流会
17:30	一日目終了

2月15日(日)

9:00～12:00	分科会・なまの交流会・ なまの観光
12:00～12:20	休憩・移動
12:20～13:00	閉会全体会

特別分科会（2月14日）

なまも一緒に平和について考えよう
～なまが進める分科会～

特別分科会（2月15日）

- ①動いて巡る被爆遺構
- ②映像で巡る被爆遺構

開会全体会 特別講演（2月14日）

「戦後80年 戦争と原爆」（案）

～私たちはビリヨクだけどムリヨクじゃない～

原水協長崎代表理事 田中 弘法 氏

被爆された方々による核廃絶に向けた地道な取り組みが認められ、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が2024年ノーベル平和賞を受賞しました。ノーベル平和賞受賞式にも同行され、被団協とともに核兵器の廃絶に向け様々な取り組みを続けられてきた長崎県原水爆禁止日本協議会代表理事の田中弘法氏に戦争の事、原爆の事、原爆により受けた被害と差別の事、核廃絶に向けて我々一人ひとりができること・・・「一人ひとりの力は微力だけれども決して無力ではない」。そのことを証明してくれたノーベル平和賞受賞について、そして世界から見える被爆国日本・被爆地長崎についてお話を伺います。

分科会一覧

申込暗号	分科会名	分科会内容
1	新人職員交流会 (経験年数3年未満)	この20年ほどの間に、障害福祉の現場は他業種からの転職者が多く見られるようになりました。「気持ちはあるのに支援のしかたがわからない」「なかまの支援でいちばん大切なことは?」など、みんなで話し合いながら深めていきましょう。
2	管理職交流 「職場のマネジメント・職員のコーディネート」	障害のある人への支援経験が少ない人が入職してくる時代に、障害福祉の現場では何を大切にしながらチームワークを紡いでいけばよいのでしょうか。主任クラス、所長クラスの人たちで悩みを語り合い、大切にしたいことを確かめあいましょう。
3	はたらく① 障害の重い人たちのはたらくを考える	きょうされんは1977年の結成当時から障害の重い人たちが働くことをたいせつにしてきました。法制度上「生活介護」の対象とされている人たちへの労働実践をとおして、重い障害のある人にとっての「しごとの意味」を考えます。
4	はたらく② なかまとともに工賃を上げていく取り組み	「しごとの誇りを感じながら意欲を持って働く」ことをたいせつにしつつ、障害のある人ひとに高い給料(工賃)を保障するためのとりくみはどうあるべきか、また工夫をどう凝らしていくかを学びあいましょう。
5	くらす グループホームでの生活支援とグループホームづくり	障害のある人が自分らしく暮らしを創っていくために、どのような支援が必要なのでしょうか。地域におけるさまざまな社会資源との連携を視野に入れながら、グループホームにおける生活支援実践を考えます。
6	ささえる 24時間365日 なかまをささえるには	障害のある人の地域生活をささえるためには24時間365日の支援体制がなければなりません。一方でじわりじわりと進行しつつあるヘルパー不足。このジレンマを私たちはどう乗り越えていくべきでしょうか。知恵を出し合い力にしていきましょう
7	特別分科会 なかまも一緒に考える平和な社会とわたしたちにできること	なかまが中心となって平和について考える分科会。皆さん地域の平和への取り組みについて共有し、これから自分たちができる平和への取り組みを考えます。 1日目・・・なかまも一緒に平和について考えよう 2日目・・・①動いて巡る被爆遺構 ②映像で巡る被爆遺構

特別分科会（2月14日）

「みんなで考える平和な社会と自分たちにできること」

沖縄の地上戦、広島・長崎の原爆投下から、そして戦後80年。戦後80年の節目を迎えた今では、みんなと一緒に働くことも、なかまのみんなで楽しく暮らすことも、私たちには当たり前な日常となりました。しかし、ひとたび戦闘や紛争が起きると、そのあたりまえの日常が一変し、その大きな犠牲となるのは障害のあるなかまや高齢者の人たちです。今だから改めて戦争について学び、平和について考え、同じ過ちを犯さないために自分たちには何ができるか・・・。各県に残る戦争に関する情報や各支部での平和に関する取組を共有し、これから取り組みについて考える、「なかまが進める分科会」です。もちろん職員の皆さんの参加も大歓迎です！

特別分科会（2月15日）

①「動いて巡る被爆遺構」

80年前の原爆投下により大きな被害を受けた長崎市。その中で今でもその当時の様子がそのまま残されている浦上天主堂や福山雅治の歌でも有名な山王神社の一本柱鳥居、爆心地のすぐ近くで多くの人が犠牲になった山里小学校、そして爆心地・・・被爆遺構を動いて巡り、ガイドの方からそれぞれの被爆遺構に関するお話を伺います。

②「映像で巡る被爆遺構」

長崎は坂の町。被爆遺構の前には長い坂道や階段などの障壁もいっぱい。車椅子だとちょっと厳しいかも・・・。でも大丈夫。事前に長崎支部のなかまがそれぞれの被爆遺構を巡り、ガイドの方にお話を伺っている映像を準備しました。現地への参加が難しい皆さんに、この映像を見てもらって、室内にいながら被爆遺構を巡っていただきます。



浦上天主堂



山王神社の被爆クスノキと一本柱鳥居



な か ま の 交 流 会

なかまの交流会① 2月14日（土）15：30～17：30

○手作り名刺で自己PR

～自分をアピールする素敵な名刺をご準備ください～

○ペットボトルボーリング

～ちょっと身体を動かしてリラックス～

○ランタン＆なんちゃってステンドグラスづくり

～出来上がった作品は閉会行事でみんなに披露したあと長崎のお土産にどうぞ～

なかまの交流会② 2月15日（日）9：00～12：00

○長崎弁でラジオ体操

～長崎弁のラジオ体操で笑いながら体を動かしてリラックス～

○長崎といえばbingoゲーム・・・豪華景品あり

～長崎にまつわる人物や歴史、地名などなど・・・事前のリサーチは必須！～

な か ま の 観 光

Aコース 長崎原爆資料館・国立平和祈念会館コース

参加費 300円

長崎原爆について知り、平和な今を感じ、自分たちでできることを考えるコース。参加者が持ち寄ったおりづるも届けます。みんなで長崎原爆をもっと学んでみませんか？

特別分科会の「動いて巡る被爆遺構」のコースには入っていません。

Bコース ちんちん電車で昼間の長崎ランタンフェスティバル散策コース

ランタンフェスティバルって夜だけって思っていませんか？もちろん夜のランタンはきれいで幻想的ですが、昼間のランタンもとても風情があります。

運が良ければ龍踊や変面ショーも見られるかも・・・。

メイン会場には長崎のおいしい食べ物もたくさんあるよ！！

会場からの移動には「ちんちん電車（路面電車）」に乗ってみましょう！

ただし、路面電車料金300円（往復）と会場でのお買い物料金が必要です。

【お願い】なかまの交流会・観光に申込される方で、現地サポートが必要な方は申込書の現地サポート要・不要にご記入いただき、別紙サポート希望カードをご記入ください。ただし、現地では主にボランティアの皆さんに対応していただくことになることをご留意ください。

大会参加申込および参加費

(1)「第28回きょうされん九州ブロック学習交流会・長崎大会の参加申込について

参加の申し込みは別紙「参加申込書」にて受け付けます。記入例を参考に、必要事項をご記入いただき、FAXまたはメールにてお申し込みください。

(2)現地サポートについて

現地でのサポートの必要の有無について、参加申込書の現地サポート要・不要欄にご記入いただき、サポートが必要な方については、別紙「サポート希望カード」にサポートの詳細をご記入いただきFAXまたはメールにてお申し込みください。

現地でのサポートはボランティアのみなさんが中心となります。大変恐縮ではありますが、重度のなかまでボランティアの方での対応が難しいと思われる方には、事業所の職員の方にご協力いただければ幸いです。

(3)1日目(2月14日)の昼食について

ご希望の方にはお弁当(600円)のご準備が可能です。「参加申込書」にご記入ください。お茶はご自身でご準備ください。

(4)宿泊について

大会事務局での宿泊の手配はいたしておりません。誠に申し訳ありませんが、参加される方ご自身で宿泊のお手配をお願いします。大会当日は長崎ランタンフェスティバル開催期間中でもあるため、できるだけ早い時点での宿泊の手配をお勧めします。また、近隣の市町(諫早市・時津町)の宿泊施設をご利用いただくことも可能かと思われます。諫早市・時津町から大会会場までは車で30分程度です。

(5)大会参加費

一般 3,600円 なかま 1,600円

※なかまの観光Aコースに参加される方は別途300円が必要となります。

(6)申込締切

2026年1月10日(土)必着

期日を過ぎるとボランティアの手配が難しくなります。また、宿泊先の手配のためにも早めの申し込みをお願いします。

(7)参加申込およびサポート希望カードの送付先

参加申込およびサポート希望カードは、大会事務局までFAX・メールにてお送りください。※確認漏れ防止のため、両方とも送っていただくと幸いです。

第28回きょうされん九州ブロック学習交流会・長崎大会 大会事務局

FAX: 0957-49-2115
メール: kyosaren.nagasaki@gmail.com

「長崎ランタンフェスティバル」

長崎新地中華街の人たちが、街の振興のために、中国の旧正月(春節)を祝う行事として親しまれていた「春節祭」を、平成6年から「長崎ランタンフェスティバル」として規模を拡大したところ、長崎の冬を彩る一大風物詩となりました。

期間中は、中国の「元宵節」のランタン(中国提灯)を飾る風習に習い、長崎新地中華街はもとより、浜町・観光通りアーケードなど市内中心部は、極彩色のランタンなどで彩られます。また、中国色豊かなイベントも繰り広げられ、皆様を魅了します。

【元宵節(げんしょうせつ)】

「元宵節」は旧暦の1月15日で、天の精靈が空を飛ぶのを見ることができると信じられてきました。この夜、雲や霧が出ていても精靈を見つけやすいうように提灯(ランタン)を灯して町を練り歩くお祭りが始まったといわれています。

期間中、長崎新地中華街をはじめ、浜市、観光通りなど市内中心部に約1万5千個にも及ぶ中国ランタン(中国提灯)などが飾られ、長崎の街は極彩色の灯で彩られます。また、オブジェには大小さまざまなものがあり、大きいもので約10メートルのものもあります。



大会会場

ベネックス長崎ブリックホール(長崎市茂里町2-38)



【新幹線・JRでお越しの方】

- ・長崎駅で新幹線を下車、JR長崎本線に乗り換え浦上駅で下車
- ・長崎駅で新幹線を下車、路面電車（赤迫行き）で茂里町下車

【お車でお越しの方】

- ・会場の駐車場

収容台数	135 台
出入庫時間	24 時間
料 金	【8 時～22 時】最初の 30 分 130 円、その後 30 分毎に 120 円 【夜間 22 時～8 時】30 分毎に 40 円

- ・または、会場周辺の有料駐車場をご利用ください。駐車場によっては最大利用上限金額設定がされており、長時間の駐車には経済的です。



第28回きょうされん九州ブロック学習交流会・長崎大会

主催：きょうされん きょうされん九州ブロック学習交流会実行委員会

後援：長崎県、長崎市、長崎県社会福祉協議会、長崎県身体障害者福祉協会連合会、長崎県手をつなぐ育成会、長崎県精神障がい者福祉協会、長崎県精神障害者家族連合会、長崎県ろうあ協会、長崎原爆被災者協議会、原水爆禁止長崎県協議会、長崎県民医連、長崎県高等学校教職員組合 (順不同)